

会長挨拶



竈原 裕明
(昭和42年電子科卒)

年の瀬を迎え、寒さも増して参りましたが、皆様は益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から北辰会活動に多くの先輩方が参加して頂き、ご協力賜っていることに感謝申し上げます。

北辰会の行事も紙上で報告させて頂きますように、年の瀬を迎え、大きな行事は盛会の内に無事終えてきました。とりわけ今年のゴルフコンペは雨風で大変な中、92名全員がホールアウトまで頑張つて頂けました。そして、念願の中部支部が12月2日に発足しました。日本で一番元氣と言われる中部・東海で同窓が集える場となり、北辰会活動に新たなページを開く事が出来ました。皆様のご努力に感謝申し上げます。

さて、母校の後輩の活躍は素晴らしいものがあります。今年度の就職決定は全国トップ、10月の体育大会では、卒業生放映プロチームが東京から駆けつけインターネットライブ中継、数千人の保護者・地域の見学が有る中、倉工健児此処にありと雄々しく逞しい姿を披露した全国有数の大会です。文武両道の後輩の活躍は、野球部の夏県大会での活躍、その後の活動を見ると甲子園後一步のところに來ています。陸上部の35年連続のインターハイ出場、空手道九州大会出場、卓球は九州・全国を狙えるところにいます。また、高校生ものづくり大会化学分析で全国大会出場、若年者ものづくり大会メカトロニクスで全国大会出場を果たしています。

母校では創立120周年を1年半後にひかえ、その準備に入ります。少子化の中、工業技術を支える人材育成が重要となります。日本ばかりでなく世界の中核校として母校の将来を見据える事業・行事となります。会員の皆様のご協力を心からお願ひ申し上げます。

会員の皆様、母校関係の皆様に取りまして、来年も素晴らしい年となり、母校共々活躍できることをご祈念申し上げ、ご挨拶と致します。

村野藤吾作品探訪



建築家 村野 藤吾
明治43年卒
機械科

広島の世界平和聖堂に見学に行くことが出来た。「村野藤吾の建築」展の開催を藤吾先輩のお孫さんである永(ひさし)さんにお聞きしたことが切っ掛けである。記念聖堂の清楚な門から建屋へ、礼拝堂の中で、坂田事務局長とすごいねえと、言いながら、余りにも大きな規模に驚いて見ていると、教会の方が、見学に來たのですか、と尋ねてこれれ記念聖堂の話詳しく伺うことが出来た。

既に戦前建築家として大成されていた村野先輩は、戦後原爆で打ちのめされた広島市の惨状の中、ラサール神父が国などの補助を一切受けずに世界からの募金・善意で大聖堂を建てようとしている姿に感銘し、無償で大聖堂の設計をお引き受けし、完成までこぎ着けたのである。詳細は、是非広島記念聖堂のネット情報を検索して頂き、見てほしい。

どのイメージ図も当時を思うには十分であった。大先輩の感動をもらいながら、坂田事務局長と福岡へ戻った。村野藤吾先輩の功績を何とか母校後輩へ繋げようと2年後に迫る創立120周年に向けて準備を始めている。1968年から5年をかけ国宝赤坂離宮(迎賓館)の昭和の大改修を監修したのは村野先輩である。建築の粋を知りすぎている人にしか出来ないものである事が、先日テレビ放映で流れていた。身近には北九州ひびき信用金庫本店がある。かつて勤めていた八幡製鉄所の溶鉱炉をイメージされたと聞く。現在もその勇姿が皿倉山を背景にそびえ立つ。

八幡図書館の遺作を受け継ぎ、村野家からは赤坂プリンスホテルの旧迎賓室にあった調度品の一部も受け継ぐように話が進んでいる。中身づくりはこれからであるが、世界に冠たる倉工魂を母校生徒に受け継がれるよう頑張つていきたい。改めて母校の先輩諸氏の応援をお願い致します。



世界平和記念聖堂(広島)



福岡ひびき信用金庫 本店

右後方には市立八幡図書館、さらに右奥には八幡市民会館が見える。いずれも村野氏の設計によるもの

平成29年度 部活動後援会の活動

部活動がんばろう会



二 祥二
昭和54年卒
電子科

8月25日
(金) 小倉飯店
に於て「部活動がんばろう会」が行われました。この

の会は部活動をご指導して頂いている先生方の激励と感謝の意味を込めて部活のOBと保護者が一堂に会して絆を深める為の懇親会を開催しています。

第一部の講演会は現在北九州市八幡西区千代中学校国語科教諭の坂口祥二(昭和54年電子科卒)先生に『学校における部活動が果たす役割』と題して講演して頂きました。坂口先生は部活の経験は有りませんが赴任する中学で男女バレー部、野球部、剣道部、バドミントン部等の監督を務めすべての部を強豪校へと育てています。

講演では部活動には何が必要か……?それは読書をする事です。読書をすれば読解力がつきます。物事は考え方、とらえ方次第で変化し、進化する、明るくとらえる事が大事です。読書の効果として知識が広がる、感情が豊かになる、意見が云えるようになる等と有益なお話をして頂きました。最後に小倉工業の強みは人とのつながりです。人を頼りにする事も大事です。と熱く語られました。二部の懇親会では田中亮平(昭和55年工化科卒)先生が部活の先生方を紹介し、それぞれ目標を発表し、懇親を深めました。



懇親会の様子

第24回 北辰会オープンゴルフ大会



10月16日(月) 昨年同様勝山御所CC(京都郡みやこ町勝山大久保)に於て第24回北辰会オープンゴルフ大会が開催されました。

前夜からの雨が降り続き、開催が危ぶまれましたが誰からも中止しようとの声が出ず開会式を行い麓原会長、奥田学校長にご挨拶をいただき雨の中をスタートしました。冷たい雨の中でしたが、92名の参加者の皆さん誰一人リタイヤする事なく最終ホールまでプレーを続けました。

参加して下さいました皆様並びに広告協賛にご協力いただいた方々に厚く御礼申し上げますと共に来年の25回大会はより多くの方に参加していただけますようお願いいたします。入賞者は次の通りです。

【男性の部】

優勝 小田 哲也(一般)

準優勝 松井 恵一(一般)

3位 中川 輝昭(昭和50年電子科卒)

【女性の部】

優勝 佐藤千代美(一般)

準優勝 西尾 英子(一般)

3位 加賀美和子(一般)

平成28年度 教育振興基金報告

教育振興基金では平成27年度に皆様方から寄せられた浄財で次の給付事業を行いました。

- 一、山田奨学会への給付……0円
- 特別奨学金、一般奨学金共に希望者が出なかった。
- 一、科学研究奨学会……500,000円
- 技能五輪メカトロニクス部門
- 機械購入及研修費
- 一、部活動などの奨励……500,000円
- 吹奏楽部、メディア部、無線部、インターアクト部
- 一、教育研究奨励……0円
- 一、国際研修事業……38,400円
- 知財仁川機械工業高校研修
- 一、予備費……80,000円
- WRO全国大会出場、
- 全国高校総体出場(陸上部)

・募金活動

平成28年度の募金活動で370件の同窓各位、団体から合計2,076,600円の浄財が寄せられました。皆様からの貴重な浄財は平成29年度教育振興基金の活動にあてられます。

【内訳】

振込 357名 …… 764,000円
現金 13件 …… 1,312,600円
平成28年度も多くの方からご協力を頂きました。厚くお礼申し上げます。

技能五輪世界大会で4個の金メダル受賞やものづくり全国大会出場等この教育振興基金は確実に母校の後輩が活躍する一助になっています。今後多くの方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度にご逝去された方々

ご逝去された方々のご冥福を心からお祈り申し上げます。
(平成28年5月11日より平成29年5月10日までに連絡のあった方々)

昭8機	桢木 久孝	昭20化	桑原 大典	昭30電	高畑 豊壽	昭37電通	江島 俊之
昭10機	梅崎 次夫	昭21機3種	安光 将信	昭30電	馬場 正敏	昭38機	丸山 新治
昭12機	矢川 吉彦	昭25電	村上 英男	昭31機	板戸 正	昭39電	柿木 宣久
昭14電	田村 久志	昭26機	佐古 晋	昭31電	木村 徳雄	昭40化	高橋 宏
昭17機2種	中村 政夫	昭26機	上田 信高	昭31化	竹内 博孝	昭41電子	工藤 良助
昭18機1種	木村 富士男	昭26機	白川 繁利	昭32機	後藤 達生	昭42機	奥 敏隆
昭20機1種	野口 治雄	昭26機	本多 日照	昭33電通	古川 品弘	昭43電	板谷 勝史
昭20電1種	荒木 瀧松	昭26化	古庄 健人	昭35機	谷口 雅治	昭44化	井川 哲雄
昭20電1種	白石 良則	昭27機	友廣 俊樹	昭35電通	鎌田 忠允	昭50機	東谷 数彦
昭20電2種	大屋 和喜	昭29機	野中 清彦	昭36機	安光 国治	昭60機	内藤 弘之
昭20電2種	吉田 栄仁	昭30機	吉村 大巳	昭37機	清水 誠		

(敬称略)

「北辰会中部支部」発足



支部長
村上 好生
昭和36年
機械科卒

永く待たれていた北辰会中部支部結成総会が2017年12月2日(土) 昭和30年代から平成の卒業生27名が参加し、盛会裏に開催されました。近年、中部地方企業へ就職の卒業生は毎年25〜30名です。当支部では新卒業生の将来生活設計サポート、企業で活躍中の卒業生の企業貢献の援助、既退職卒業生の親睦交流を行います。卒業生の企業・社会貢献こそが母校小倉工業高等学校の社会的評価なのです。今後、卒業生各人が北辰会会員である自負を育む中部支部を目指します。



中部支部設立については、岩田高宏氏(昭和60年 電子科卒)・友尻圭氏(平成元年 電子科卒)が中心になり、昨年と今年の2年にわたり懇親会と新人歓迎会を開催。昭和20年代から平成20年代まで幅広い年代の方々に出席いただき、支部創立の機運が高まり、今回の設立総会を迎えることになりました。

事務局

福岡支部創立50年



事務局長
小柳 伊佐男
昭和52年
設工科卒

50年の節目に相応しく、支部総会には前年より多くの同窓生に参集いただきました。一概に同窓生と言いつても参加者は上鶴氏(昭和26年 電気科卒)から唐木氏(平成17年 電気科卒)まで幅広い年代層に出席いただき、大変有難く思いました。来賓として笹原会長以下多くの支部長もお祝いに駆け付けていただき、また母校より石津教頭先生に列席を賜りました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

総会誌に毎年掲載する「会員の窓の欄」には今年「新たな出発、育てよう絆」をテーマに会員から日頃、感じている事、高校時代の事、これからの事等を募集したところ20名の方から其々の思いが記された投稿をいただきました。その中高橋氏(昭和37年 機械科卒)からの投稿には、24才の時 支部創立に参加し先輩の方々と緒になって支部を作った事が懐かしく書かれていましたので、総会で当時の思い出話を披露いただきました。

支部総会に続き懇親会に移り、音楽部OBによる演奏、各支部長、初参加者らの挨拶等で盛会に行われました。

福岡支部は、昭和から平成に移る頃、休止の時がありました。先輩達の活躍で再会されました。次の50年へ向け鋭意努力し、後輩にバトンタッチして行きたいと思った今年の支部総会でした。



母校で真空管を勉強して58年



株式会社
ファスコ 代表取締役
森川 忠
昭和35年
電気通信科卒

33才の時に「石の上にも3年」と言うことで、36才で二人前になればとの思いで、脱サラ独立した。

「機電一体となってカタログに無い機種を作る」をめざし、お客様の製造工程に合せた品料理的な自動化・省力化機種と専用工作機械の製作を目的とし、鉄のドンガラを売るのでなく機能を生産ののだとの考えで事業をスタートした。非常にリスクのある商売でしたが(約束の機能が發揮できないと検収されない)。大手が手を出さないスキマ産業だったので仕事はいくらでもあった。

「砂漠の民族にとってはリスクに相当する言葉には明日の糧を求めるという意味がある」との思いで今日までがんばってきました。その後は紆余曲折で山あり谷ありで、現在はそれぞれの分野のエキスパートとチームを組んで、1. 国産・外国産NC工作機械の旧式NCコントローラーを最新式にリプレースする仕事。

2. 汎用工作機械に最新式のCNCコントローラーを取付けてNC工作機械にレトロフィットする仕事。
3. そして自社製品として、タイヤ金型用文字彫刻機(国内14台、海外7台稼働中)の製作等の仕事。

11月14日付の日刊工業新聞によると、事業承継問題をこのまま放置すると2025年頃までの10年間で累計で約650万人の雇用と約22兆円の国内総生産(GDP)が失われる可能性があると言われています。

我社も後継者がいません。一刻も早く後継者をみつけて弊方が元気な内に承継させたいとの思いでいばいます。



タイヤ金型用
文字彫刻機

二輪車電装システム開発



株式会社本田技術研究所
二輪R&Dセンター
第三技術開発室
第一ブロック ICT Gr.
野口 晃平
平成19年
電子機械科卒

(株)本田技術研究所二輪R&Dセンターへ入社後、第三技術開発室 第二ブロックへ所属、二輪車の研究開発に関わっている。

所属部署では主に二輪車電装システム開発を担当しており、量産・レース・先行技術など部署担当機種は多岐に渡る。

私の主担当業務はレース機種及び先行技術を担当し、レース機種では主にオフロードレース(モトクロスやダカールラリーなど)向けワークス車輛の開発を担当し電装系プロジェクトリーダーとして設計・テスト(テストライダー業務含む)を国内で行い、レース時はエンジニアメカニックとして国内外のレースへ参画している。

先行技術では二輪車向けコネクティブシステムデバイスの開発を担当しモバイルネットワーク網や近距離通信(BluetoothやWi-Fiなど)を利用した新たなサービスの構築を行っている。

在校生の皆さん、バイクや新技術、海外での業務に興味のある方や、さまざまな事にチャレンジしたい方へは絶対にオススメの職場です。

電装系だけでなく、エンジンやフレーム設計などさまざまな職種があり、まずチャレンジャーでみて下さい。



～学校だより～

第12回 若年者ものづくり競技大会 「メカトロニクス」職種

平成29年8月3日～5日に名古屋市で上記大会に福岡県代表で電子科3年 近藤 快君と杉本 匠君が出場しました。

第1課題のネットワーク運動課題、第2課題のトラブルシューティング課題、第3課題のメンテナンス課題に取り組み、無事に競技を終了することが出来ました。

成績は34チーム中24位でしたが初参校としてはトップの成績でした。

年末には同競技国際大会で何度も金メダルを獲得している仁川機械工業高校の先生と生徒を招き共に研鑽を重ね、技能五輪国際大会に於て我校の卒業生4人が金メダルを獲得していますので次に金メダルを狙える人材育成を目指していきたいと考えています。

無線部顧問 小柳 茂



白萩の丘から篠崎の里へ



篠崎中父母教師会 会長
野瀬 正伸
昭和59年
電子科卒

北九州市立篠崎中学校父母教師会会長の野瀬正伸(昭和59年 電子科卒)と申します。この度は篠崎中創立70周年記念体育大会開催にあたり格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

篠崎中は昭和22年に小倉市立第5中学校として篠崎の地に創設されました。この場所には明治32年から小倉工業高校があり、昭和20年代は倉工生と篠中生が同じ敷地内で勉強をしていたそうです。私が倉工在学中に大変お世話になった笹原裕明北辰会会長とご縁があり、坂田智之事務局長、奥田邦夫校長先生にお力添えを頂く事が出来たお陰で、70年近い時を経て倉工生と篠中生が再び共になりました。倉工健児による創作和太鼓の軽快かつ迫力満点の記念演武と心のこもったエールは大変素晴らしく感動致しました。このご縁を大切に、小倉工業高校と篠崎中学校が今後も交流を重ね絆を強める事が出来ればと考えております。ご支援下さいました全ての方々へ心より感謝申し上げます。



福岡県一早い進路状況(工業高校)

今年度、福岡労働局から、福岡県内高校新卒者の求職者数7,236人に対し、求人数15,287人と求人倍率2.11倍と昭和62年度調査開始以降で最高になったと発表されました。

その中で本校は、求人企業数と求人数ともに増加しました。特に他校に見ない職種の多さでは、生徒にとってはとても良い状況となりました。しかし、この現状に満足することなく3年生は進路実現に向けて夏休み返上で努力を重ねてきました。

その結果、10月20日には、就職希望者182名の全員の内定をいただき、いち早く就職率100%を達成することができました。

進学希望者においても現在、推薦入試試験等に向け努力しております。

この成果は、同窓の皆様の各企業や各職場でのご活躍と本校への温かいご支援によるところが大変大きいと感謝しています。さらには、先輩諸氏から引き継がれている倉工魂で、一人一人が高い進路意識を持って取り組んできた成果だと思えます。本校職員は、今後もこの伝統を引継ぐべく在校生全員の進路実現に向け、全職員で指導してまいります。

〈就職希望者：182名〉	
内 定 者	182名
(県内91名、県外91名)内定率100%	
公務員希望者	3名
進 学 希 望 者	13名
合 計	198名

11月1日現在

部活動状況

運動部

野球部

夏甲子園大会予選
県大会ベスト8
優秀応援賞受賞
一年生大会
準優勝

陸上部

県大会出場
インターハイ35年連続出場

バスケットボール部

県大会出場

ソフトテニス部

県大会出場

サッカー部

県大会出場

卓球部

県大会出場

空手道部

団体

九州大会出場

松田 諒太(化2年)

西原口直人(電2年)

伊藤 海心(電機2年)

大倉紳之介(機2年)

白川 夏輝(電子2年)

文化部

無線部

若年者ものづくり メカトロニクス職種
全国大会出場

ものづくりコンテスト

九州大会
1位 上村 奨(化3年)… 全国大会へ
3位 大道 海(電子3年)

インターアクトクラブ

北九州市青少年ボランティア表彰
奨励賞受賞



吹奏楽部定期演奏会のお知らせ

第12回定期演奏会は、平成30年2月4日(日) 13時30分からウェル戸畑大ホールにて行います。入場無料です。多数のご来場をお待ちしています。

会 計 報 告

平成28年度北辰会決算書及び平成29年度予算案

(単位:円)

費 目	平成28年4月1日～平成29年3月31日				平成29年度 予算額	摘 要
	予算額	決算額	対比増減	摘 要		
前年度繰越金	387,431	387,431	0		364,584	
同窓会費	2,100,000	2,161,400	△61,400	1,081件	2,200,000	@2,000円×1,100名
新入生入会金	600,000	600,000	0	@3,000円×200名	600,000	@3,000円×200名
在校同窓会生費	3,564,000	3,543,500	20,500	@500円×12ヶ月×1,2,3年	3,576,000	@500円×12ヶ月×1,2,3年(596人)
預金利息	69	5	64	福銀 1円 福銀 2 4円	16	
入 入 簿 販 売 金	45,000	54,000	△9,000	12冊	72,000	@4,500円×16冊
雑 収 入	303,500	309,000	△5,500	総会より300,000円	287,400	
合 計	7,000,000	7,055,336	△55,336		7,100,000	
支 出						
支 部 還 元 金	50,000	44,500	5,500	支部活動支援費	50,000	支部活動支援費
組 対 策 費	400,000	393,278	6,722	組織強化費用・中部東海準備費	450,000	組織活性化・組織強化費
大 編 名 集 簿 費	800,000	400,000	400,000	名簿積立金へ	1,000,000	平成32年度改訂積立金
部 活 援 助 費	1,200,000	1,200,000	0	部活動支援費用、同窓会バス補助	1,200,000	部活動支援費用、同窓会バス補助
事 務 手 当	1,000,000	1,000,000	0	事務局長手当	1,000,000	事務局長手当
人 件 費	1,400,000	1,387,560	12,440	事務局パート代(交通費含)	1,400,000	事務局パート代
印 刷 費	230,000	217,487	12,513	コピー機リース代・部品交換代	230,000	コピー機リース代・インク代等
会 報 費	500,000	523,801	△23,801	北辰会報冬季号	530,000	北辰会報印刷費、発送費
会 議 費	100,000	57,563	42,437	理事評議員会・支部代表者会議	80,000	理事評議員会・支部代表者会議
通 信 費	150,000	127,202	22,798	電話代・領収書葉書代・案内等	130,000	電話代・会議通知送料・領収書葉書代等
旅 交 通 費	350,000	309,250	40,750	各支部総会出席旅費等	330,000	支部総会等出席旅費・事務局交通費
永 年 勤 続 費	30,000	25,000	5,000	記念品代	5,000	学校職員10年勤続者
慶 事 費	150,000	160,000	△10,000	支部総会祝儀等	170,000	各支部総会祝儀等
産 業 教 育 費	5,000	5,000	0		5,000	産業教育等協賛費年会費1口
事 用 品 代	100,000	34,168	65,832	コピー用紙・封筒・文具類他	60,000	事務局事務用品等
振 手 数	100,000	74,594	25,406	会費振替手数料	80,000	会費振替手数料等
雑 費	60,000	31,164	28,836	茶業代他	50,000	茶業代等
事 務 局 費	250,000	181,836	68,164	水道光熱費、電話リース代等	200,000	水道光熱費・清掃代・電話リース費用
予 備 費	95,000	88,916	6,084	名簿管理用PC	100,000	
北 辰 会 長 表 彰 費	30,000	29,433	567	生徒表彰記念品代	30,000	生徒表彰記念品代
寄 付	0	400,000	△400,000	基金へ	0	基金へ
合 計	7,000,000	6,690,752	309,248		7,100,000	
次年度繰越金		364,584				

平成28年度北辰会定期総会決算書(平成5年・平成17年度卒当番幹事)

(単位:円)

費 目	金 額	摘 要
総 会 会 員 券	1,115,000	@5,000円×223枚
収 入 廣 告 料	1,805,000	@5,000円×361口
入 雑 収 入	483,736	祝儀80,000円 イベント収入120,000円 前年度準備金278,736円 広告寄付等5,000円
合 計	3,403,736	
支 出		
総 会 費	1,846,921	総会飲食費、会場関係費、会場費、アトラクション代、写真代、総会資料及び会員券等印刷代、送料等
当 番 幹 事 会 議 費	222,210	当番幹事会議費及び反省会費
事 務 局 運 営 費	1,334,605	次年度準備金238,689円 同窓会寄付300,000円 春季会報費384,997円 通信費、雑費、事務局運営費等
合 計	3,403,736	
差引残高	0	

基金会計(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:円)

費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	15,130,670	ゆうちょ銀行定額預金 3,400,000円 福岡中央銀行定期預金 11,730,670円
預 金 利 息	2,041	福岡中央銀行利息
寄 付	400,000	平成28年度一般会計より
合 計	15,532,711	
次 年 度 繰 越 金	15,532,711	ゆうちょ銀行定額預金 3,400,000円 福岡中央銀行定期預金 12,132,711円

名簿積立金(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(単位:円)

費 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	1,125,441	福岡中央銀行定期預金
収 入 名 簿 積 立 金	400,000	名簿引当金(平成32年度改訂名簿編集費)
利 息	100	利息
合 計	1,525,541	
次 年 度 繰 越 金	1,525,541	

平成28年度教育振興基金(一般会計)決算書

(単位:円)

費 目	本年度予算額	本年度決算額	差引増減額	備 考
前年度繰越金	3,203,570	3,203,570	0	前年度繰越金
収 入 寄 附 金	1,900,000	2,034,880	134,880	
入 雑 収 入	430	31	△399	預金利息
合 計	5,104,000	5,238,481	134,481	
支 出				
特 別 奨 学 金 費	600,000	0	600,000	
山 田 奨 学 会 費	120,000	0	120,000	@10,000円×6月×1名(前期) @10,000円×6月×1名(後期)
科学研究奨学会費	500,000	500,000	0	
部 活 動 奨 励 費	500,000	500,000	0	
教育研究奨励費	200,000	0	200,000	
国 際 研 修 費	300,000	38,400	261,600	知財仁川機械工業研修
管 理 費	200,000	115,359	84,641	振込用紙印刷代、振込手数料
事 務 費	350,000	249,216	100,784	同窓会館財産使用料
予 備 費	2,334,000	80,000	2,254,000	
合 計	5,104,000	1,482,975	3,621,025	

収入額 5,238,481円 支出額 1,482,975円 = 3,755,506円(次年度へ繰り越し)

平成28年度教育振興基金(特別会計)決算書

(単位:円)

費 目	本年度予算額	本年度決算額	差引増減額	備 考
前年度繰越金	9,023,975	9,023,975	0	前年度繰越金
収 入 雑 収 入	1,025	132	△893	預金利息
合 計	9,025,000	9,024,107	△893	
支 出				
合 計	0	0	0	

収入額 9,024,107円 支出額 0円 = 9,024,107円(次年度へ繰り越し)

教育振興基金納入のお願い

母校創立100周年を機に創設された教育振興基金の運用が始まって16年が経過しました。基金は主に山田奨学会・科学研究奨学会・部活動支援等多方面に活用させていただいております。お陰様で確実にその成果が上つて来ています。ものづくりコンテスト全国大会・化学分析部門若年者ものづくり競技「メカトロニクス」職種)出場等全国で活躍できるようになりました。特にここ10年の間に技能五輪国

際大会で4人の金メダリストが誕生しました。又体育大会をリアルタイムで全国海外へも配信しています。この様な活躍ができるのも会員各位のご協力ご支援の賜と厚く御礼申し上げます。母校後輩への支援を続けるには皆様方のご協力ご支援が欠かせません。年会費同様教育振興基金へのご理解とご協力ご支援をお願いいたします。

北辰会 年会費納入のお願い

会員の皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、母校創立120周年がいよいよあと1年半に迫りました。北辰会事務局では記念事業・記念行事が盛大に滞りなく行えますよう準備にとり掛っております。その為には北辰会が順調に運営される事が最も重

要です。皆様方の変わらぬご支援をお願いいたします。事務局では会員への情報発信と母校の発展の為、事務の効率化と経費節減に努めてまいります。出費多端の折誠に恐縮ですが年会費の納入を宜しくお願い申し上げます。

昭和43年卒業50周年

昭和43年卒業の皆さんが来春3月で50周年を迎えて記念同期会を左記のように行いますので是非ご参加下さい。日時…平成30年1月12日(金)17時～20時場所…ステーションホテル小倉会費…7,000円幹事

【機械科】	若松健城	090-7981-8690
小川啓太	090-1196-2925	
【電気科】	小森広幸	090-4483-8248
【工業化学科】	黒川克典	090-9795-8390
【電子科】	浦塚省一	090-1364-9634
【機械工作科】	植本 薫	090-3607-5937